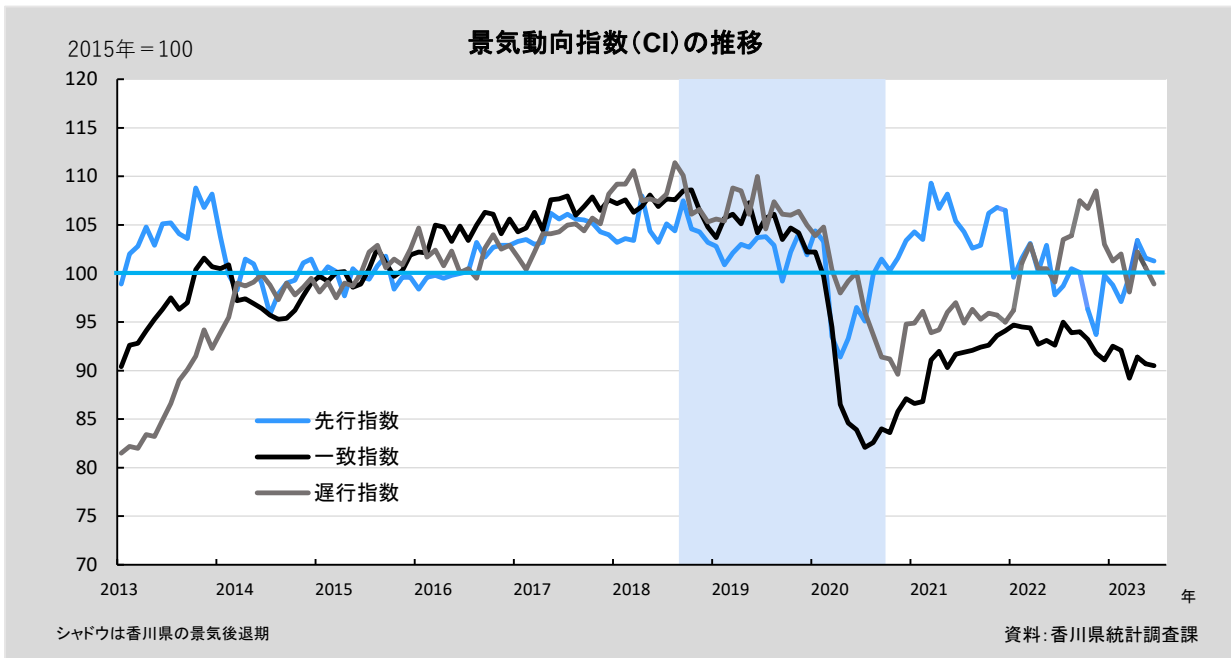


概況	景気は、緩やかに持ち直している。
個人消費	持ち直しの動きが続いている。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	横ばい圏内の動きとなっている。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出、輸入ともに減少している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 2カ月連続下降



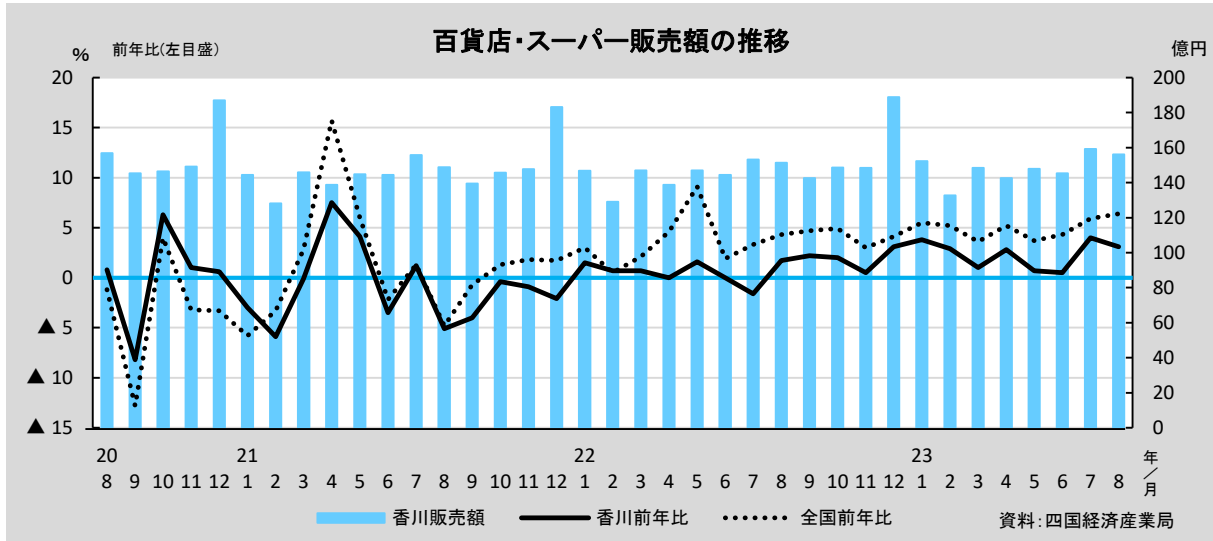
景気の現状をみると、7月のCI一致指数は90.5（前月比▲0.2ポイント）と2カ月連続で下降。CI先行指数は101.3（同▲0.3ポイント）と2カ月連続で下降。CI遅行指数は98.9（同▲1.7ポイント）と2カ月連続で下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、鉱工業生産指数、鉱工業出荷指数等が下降に寄与したことにより、前月から0.2ポイントの下降となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	▲ 0.13	1 雇用保険受給者実人員	▲ 0.03	1 常用雇用指数	▲ 0.01
	2 乗用車新車登録台数	▲ 0.79	2 有効求人倍率	0.18	2 有効求職者数	▲ 0.39
	3 鉱工業在庫率指数	1.57	3 所定外労働時間指数	0.09	3 消費者物価指数	▲ 0.27
	4 生産財生産指数	▲ 1.38	4 鉱工業生産指数	▲ 0.64	4 家計消費支出	0.73
	5 新設住宅着工戸数	0.50	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.28	5 鉱工業在庫指数	▲ 0.47
	6 金融機関貸出残高	0.11	6 建築着工床面積	0.08	6 法人事業税調定額	▲ 0.47
	7 消費者態度指数	0.04	7 百貨店・スーパー既存店販売額	0.41	7 第3次産業活動指数	▲ 0.68

●百貨店・スーパー販売額

13 カ月連続増加 ↑

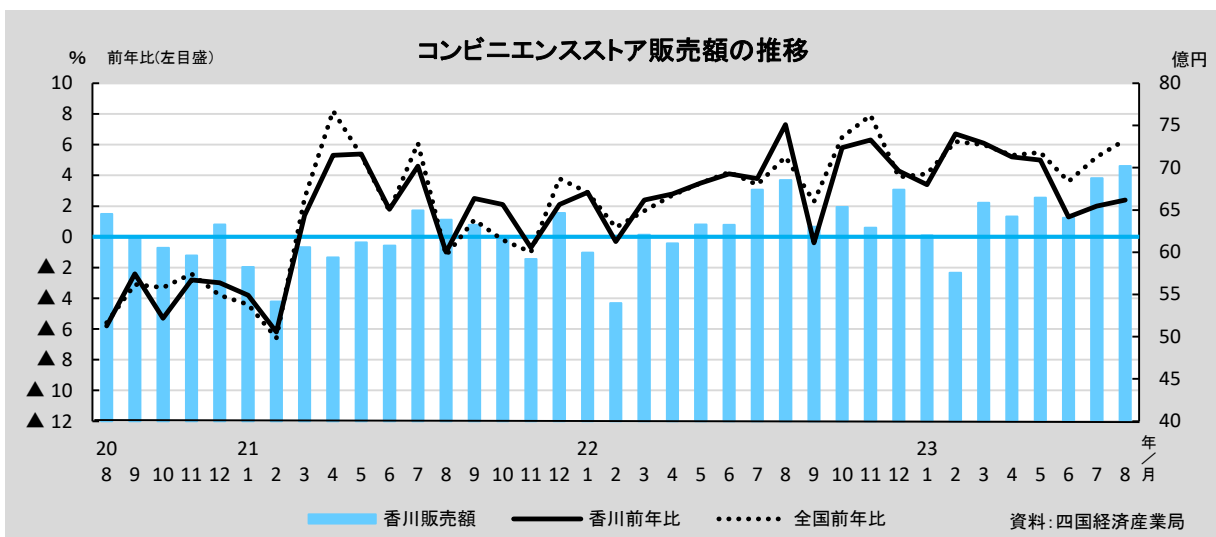


2023/8月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	80,097	60,990	1,192,101	2,206	5,124	69,387	150,732	527	1,561,164
前年同月比(%)	▲3.4	▲17.1	▲1.8	▲10.1	▲1.1	▲183.6	▲16.7	▲32.4	▲3.1

8月の百貨店・スーパー全店（84店）の販売額は156.1億円で、前年同月比+3.1%と13カ月連続で増加した。外出機会の増加等により「身の回り品」は同17.1%と引き続き好調、「衣料品」は季節商品が伸長し同+3.4%となった。また、中食需要の定着や帰省需要等により「飲食料品」は同+1.8%と堅調に推移した。

●コンビニエンスストア販売額

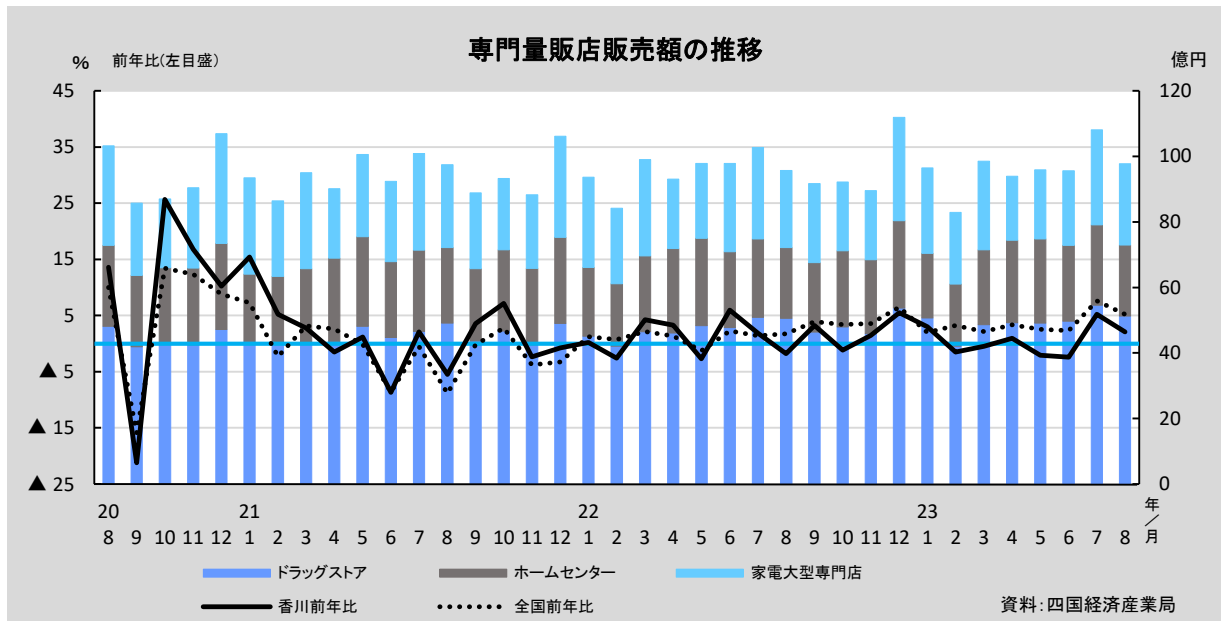
11 カ月連続増加 ↑



8月のコンビニエンスストア全店（403店）の販売額は70.2億円で、前年同月比+2.4%となった。商品価格の上昇分が販売額を押し上げたほか、販売促進効果もみられた。おにぎり・冷凍食品・カップ麺・インスタント食品などが好調で、11カ月連続の増加となった。

●専門量販店販売額

2 カ月連続増加 ↑

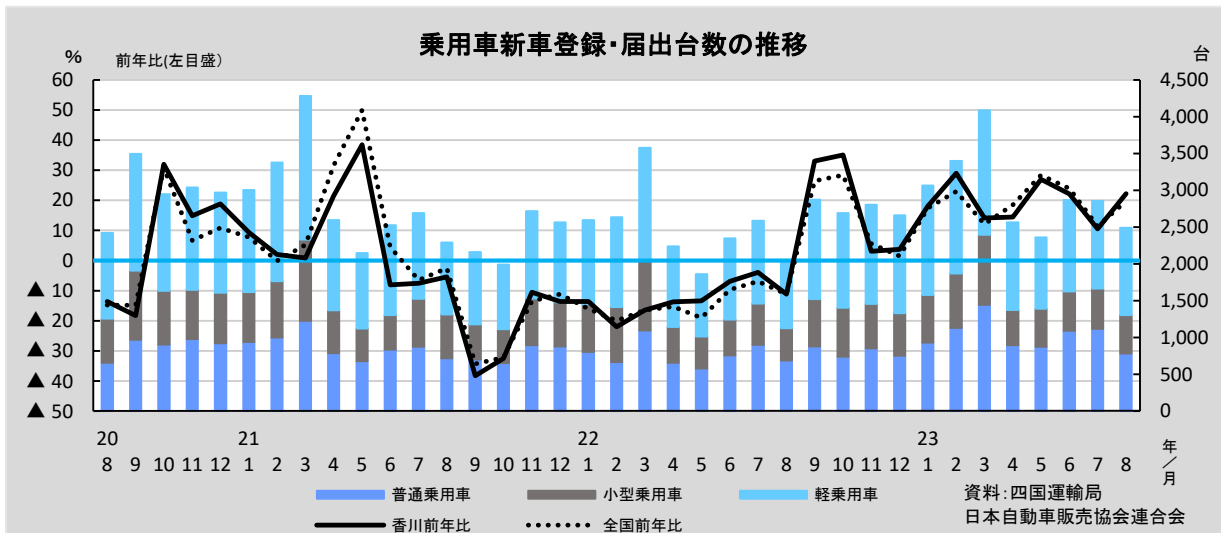


8月の専門量販店全店（211店）の販売額97.7億円で、前年同月比+2.1%と2カ月連続で増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（28店）は、気温高の影響でエアコンや冷蔵庫が伸び、販売額は24.8億円で前年同月比+4.7%となった。商品価格の上昇分が販売価格を押し上げる傾向が続いたことや気温高での季節商品の伸長により、**ドラッグストア**（138店）の販売額は51.3億円で同+1.4%、**ホームセンター**（45店）の販売額は21.7億円で同+0.7%となった。

●乗用車新車販売台数

12 カ月連続増加 ↑



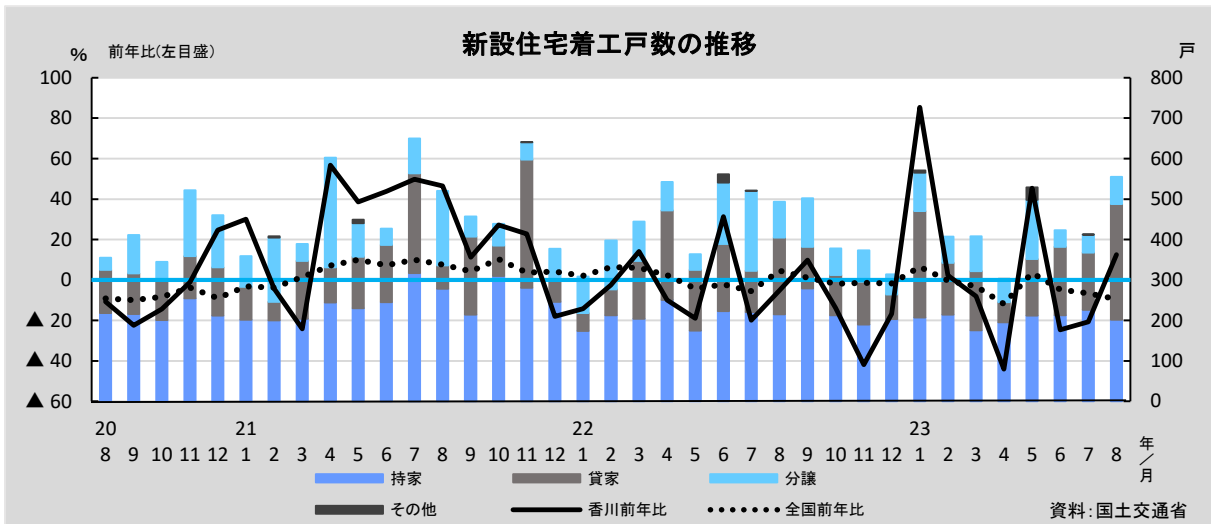
8月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,490台で、半導体や部品不足が深刻だった前年からの反動増で前年同月比+22.2%と12カ月連続で増加した。

車種別にみると、普通乗用車で前年同月比+14.1%、小型乗用車で同+18.7%、軽乗用車で同+30.1%となった。

住宅投資 低調に推移している

●新設住宅着工

3 カ月ぶり増加 ↑

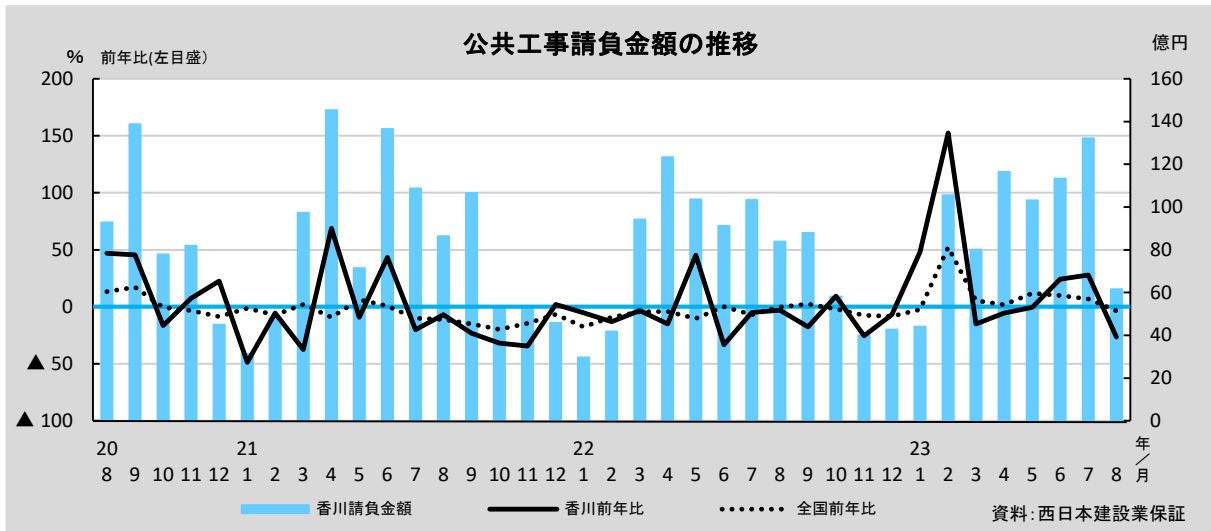


8月の新設住宅着工戸数は555戸で、前年同月比+12.6%と3カ月ぶりに増加した。利用関係別にみると、持家で前年同月比▲6.0%、貸家で同+50.5%、分譲住宅で同▲23.9%となった。

公共投資 横ばい圏内の動きとなっている

●公共工事請負金額

3 カ月ぶり減少 ↓

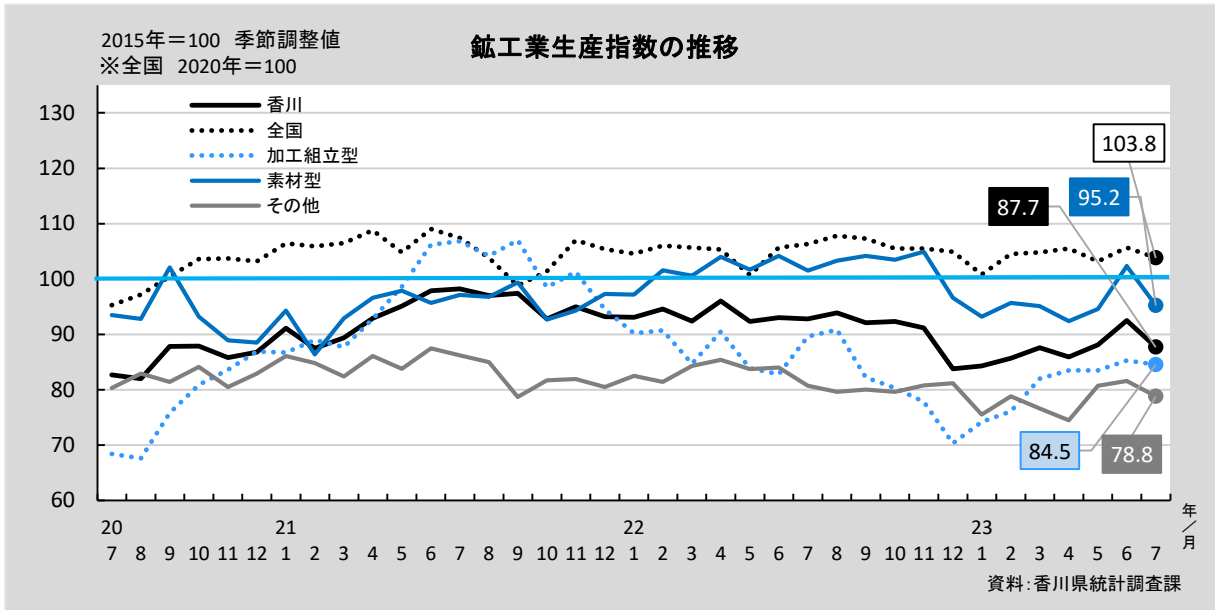


8月の公共工事請負金額は61.5億円で、前年同月比▲26.7%と3カ月ぶりに減少した。発注者別にみると、国・独立行政法人等で前年同月比▲76.1%、県で同+30.0%、市町で同▲11.3%となった。

2023.4月～8月の累計では前年同期比4.2%増加している。

● 鉱工業生産指数

3 カ月ぶり低下 ↓



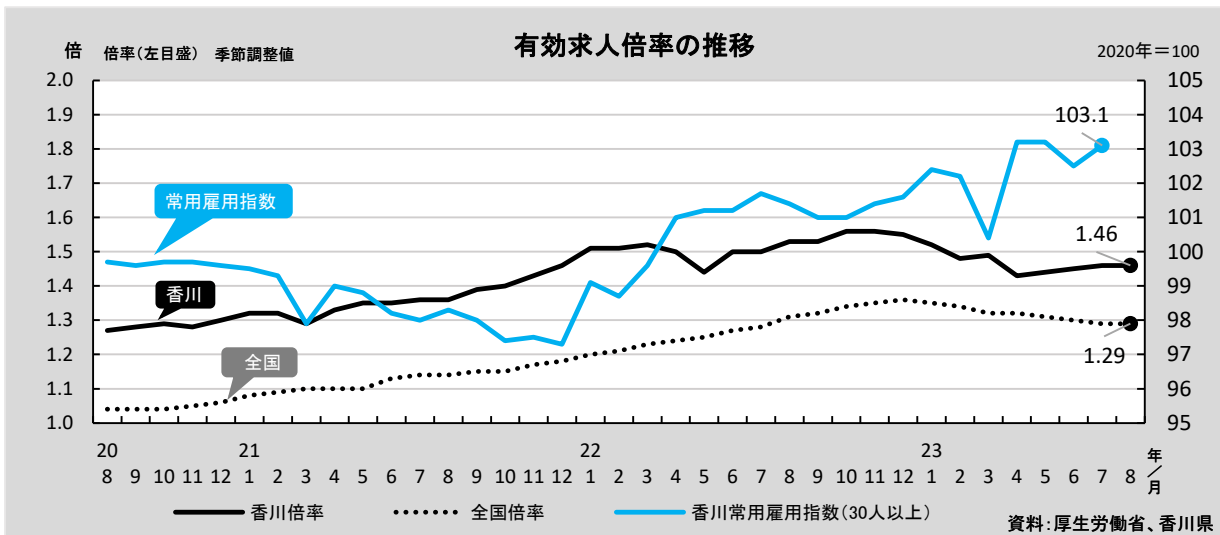
7月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は87.7（前月92.5）となり、3カ月ぶりに低下した。

業種別では素材型の非鉄金属工業（電気金など）は前月比▲10.8%、加工組立型の汎用・生産用機械工業（ころ軸受・建設用クレーンなど）は同▲11.7%と低下した。

一方、加工組立型の電気機械工業（発光ダイオードなど）は同+10.5%と上昇した。

● 有効求人倍率

前月と同水準 →



8月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.46倍（全国10位）と前月と同水準となった。

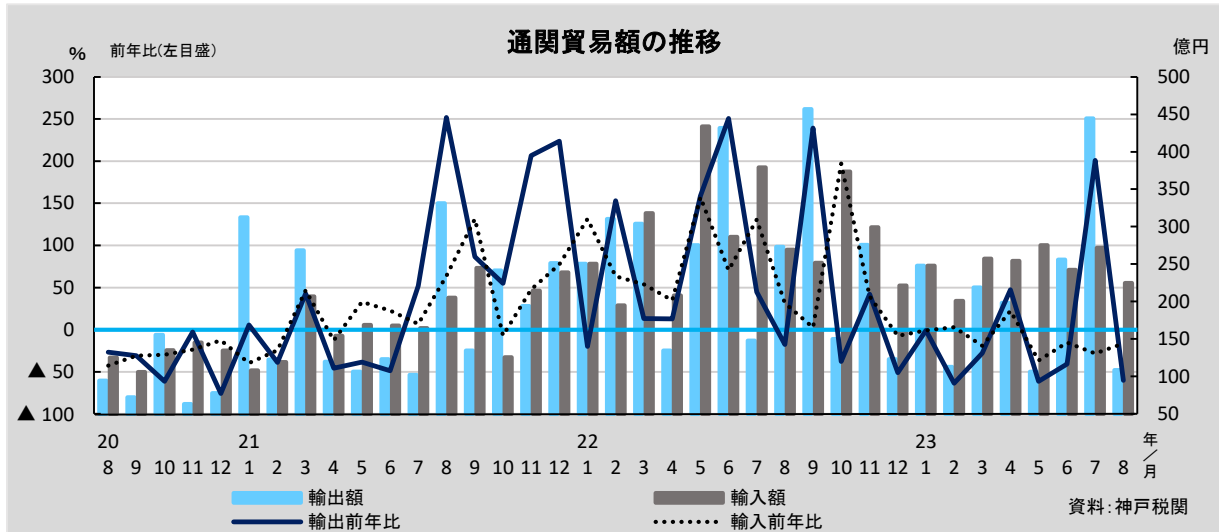
新規求人（原数値：前年同月比）は、サービス業（他に分類されないもの）、卸売業・小売業、生活関連サービス業・娯楽業等で減少し、全体で▲3.0%と3カ月連続で減少した。

7月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、103.1となり、前年同月比は17カ月連続で増加した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業従事者	1.85
事務従事者	0.64
販売従事者	2.63
サービス職業従事者	3.31
生産工程従事者	2.37
輸送・機械運転従事者	2.24
建設・採掘従事者	6.19
運搬・清掃・包装等従事者	1.24

貿易

輸出、輸入ともに減少している



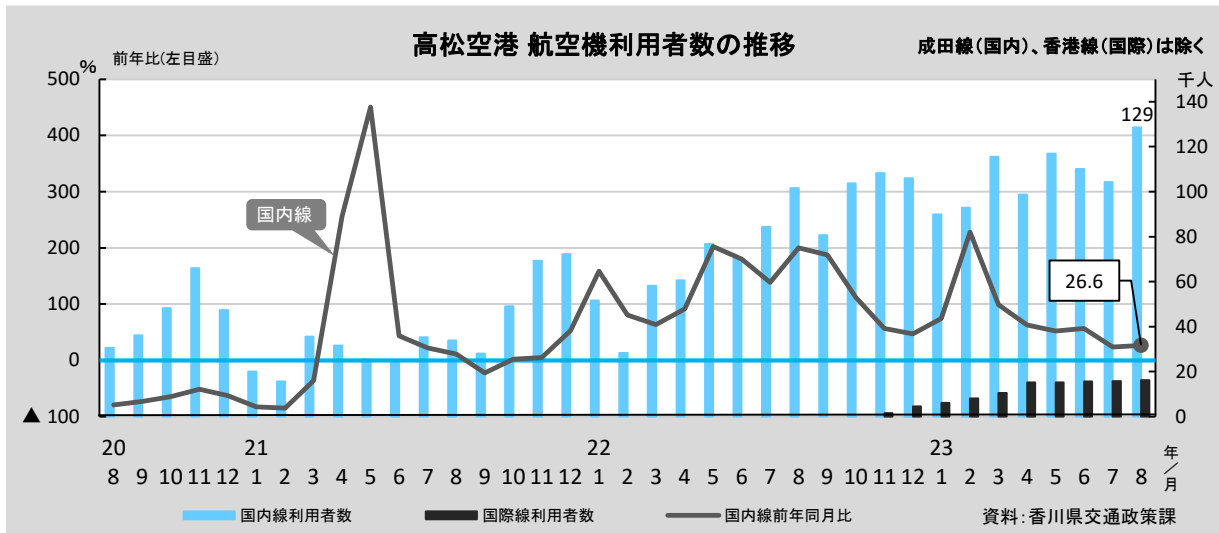
8月の輸出額は前年同月比▲60.3%の108.4億円、輸入額は同▲16.5%の225.0億円となり、差し引き116.6億円の入超となっている。

輸出は、前年124億円だった貨物船輸出額がゼロとなった。輸入は、液化石油ガス輸入額が同▲87.7%の5億円となった。

交通

国内線は23カ月連続増加、国際線は順調に増加

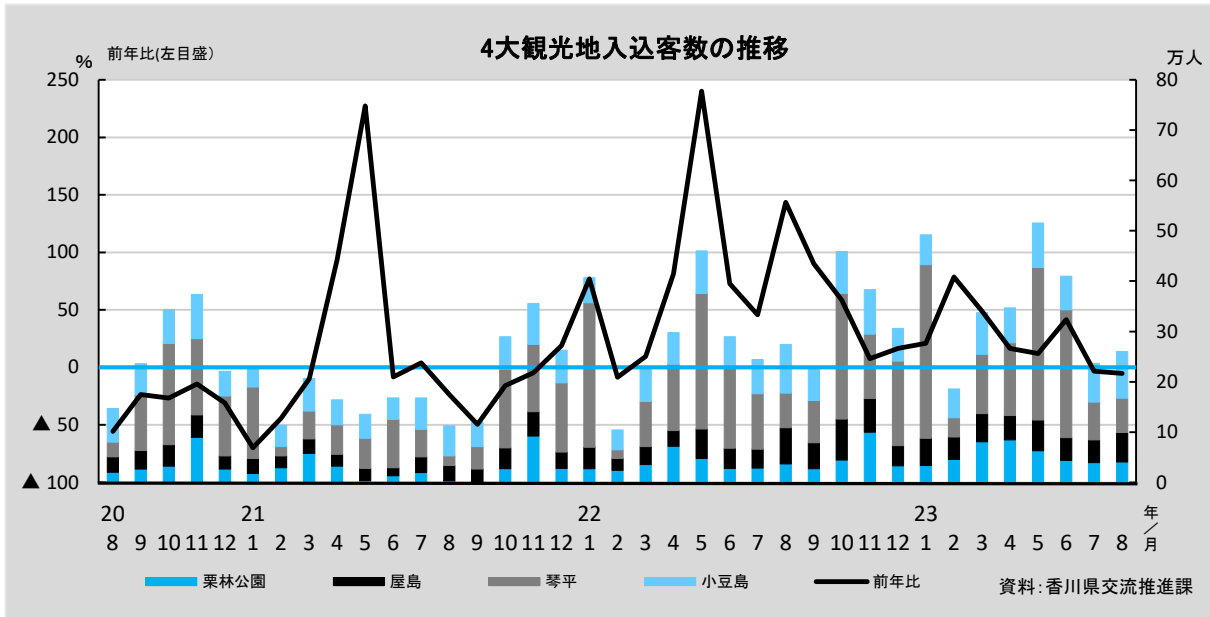
●高松空港旅客輸送実績



8月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が128,619人(前年同月比+26.6%)となり、23カ月連続で増加した。羽田線は120,301人(同+24.8%)、那覇線は8,318人(同+59.8%)となった。

国際線は、ソウル線が10,837人、台北線が5,318人で合計16,155人となった。国際線が再開して10カ月堅調に推移している。

●主要観光地入込客数

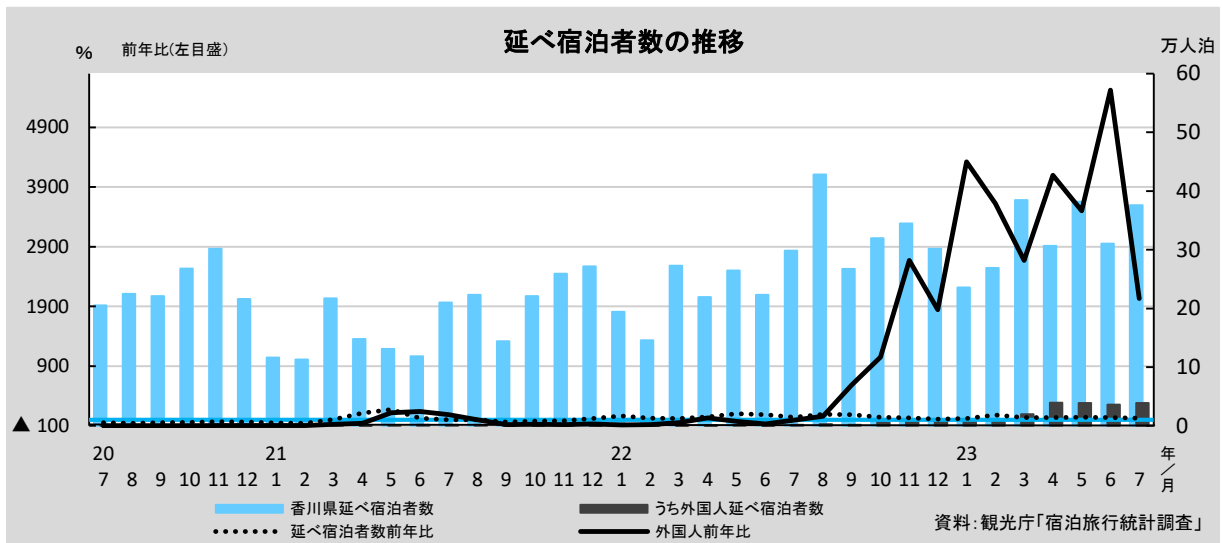


観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計
8月(人)	前年同月比	40,541	58,567	68,000	92,935	260,043
		▲10.1%	▲18.4%	▲1.4%	▲3.8%	▲5.2%
1~8月累計(人)		431,547	412,731	1,345,000	594,772	2,784,050
		44.1%	21.0%	18.4%	12.8%	20.9%

8月の主要観光地の入込客数は、前年同月比▲5.2%と2カ月連続で減少した。栗林公園は前年同月比+10.1%増加したものの、屋島は同▲18.4%、琴平は同▲1.4%、小豆島は同▲3.8%と減少した。

1~8月の累計では前年比+20.9%となった。

●延べ宿泊者数



7月の延べ宿泊者数は375,840人で、前年同月比+25.9%と20カ月連続で増加した。コロナ禍前の2019年同月比では▲4.4%となった。

うち、外国人延べ宿泊者数は39,080人となり、前年同月比+2,035.5%と12カ月連続で増加した。2019年同月比では▲46.6%となった。